

[た よ り]

## 北海道支部だより

### 久木田和丘

北海道透析医会は昭和54年に発足し初代会長は渡井幾男（昭和54年～平成元年）、二代会長は猪野毛健男（平成元年～平成6年）、三代会長は今忠正（平成6年～）の諸先生が歴任されてきました（菅原剛太郎：北海道支部だより、日透医誌、16；101-102、2001）。現在、今忠正会長以下100施設151名の会員が活動しております。

本会における近年の学術研究は大平整爾常任理事を中心に行われ、「北海道における慢性血液透析患者用ブラッドアクセスに関するアンケート結果とその分析」（日透医誌、15；107-121、2000）、「北海道における高齢者透析並びに慢性透析患者の終末期医療」（日透医誌、19；324-346、2004）が投稿されております。

また年に2回、春秋に外部講師を招請し札幌市透析医会と合同で学術講演会を開催しております。最近は

平成17年2月19日、佐野伊川谷病院の内藤秀宗先生、医療経営戦略研究所の桜堂渉先生をお迎えして透析医療と医療施設経営についてのご講演をいただきました。この会には事務方の出席もあり参加者は130名で盛会でした。

北海道も道東を中心に地震の多いところですが、阪神淡路大震災の振動から当時の田島邦好副会長を中心に大震災対策が協議されました。震災時の通信手段、搬送手段、ライフラインの調査および市、道との協議のほか、地震の災害地を札幌中心あるいは札幌外とした想定のもと、道内の受け入れ体制の調査を行っております（表1、2）。

日本透析医会は平成15年度には33道府県に支部が結成されておりますが、日本透析医会、山崎親雄会長の呼びかけでさらなる組織の強化を目指し平成15年

表1 後方支援I（近隣地区の受入体制）

	札幌	石狩・江別	岩見沢	千歳・恵庭	小樽	苫小牧	小計	滝川	旭川	室蘭	小計	合計	
施設数	28	2	6	5	8	5	26	1	12	5	18	72	
有床施設	24	1	6	4	7	5	23	1	11	4	16	63	
ダイアライザー台数	695	55	116	75	105	89	440	38	252	133	423	1,558	
受入体制	通常スケジュール	304	25	30	101	73	45	274	4	86	49	139	717
	夜間、休診日も稼働	716	70	126	89	124	117	526	40	243	123	406	1,648
	応援スタッフとフルタイムに稼働	1,195	110	175	216	202	175	878	100	505	241	846	2,919
	急性腎不全とクラッシュの受入	94	6	14	13	13	12	58		31	8	39	191

表2 後方支援II(地方都市の受入体制)

	留 函 帯 浦 北 釧 稚							小 計	総 合 計	
	萌	館	広	河	見	路	内			
施設数	1	11	9	2	3	10	1	37	109	
有床施設		11	8	2	3	9		33	96	
ダイヤライザー台数	7	205	113	31	47	161		564	2,122	
受 入 体 制	通常スケジュール		60	67	33	43	95	2	306	1,017
	夜間、休診日も稼働	14	146	175	30	94	113	10	582	2,230
	応援スタッフとフル タイムに稼働	14	245	246	47	175	205	40	972	3,891
	急性腎不全とクラッ シュの受入		24	9	3	18	21	2	77	268

表3 北海道透析医会役員

会 長	今 忠正
副 会 長	菅原剛太郎
”	中野 幸雄
”	広田 紀昭
常任理事	川村 明夫
”	戸澤 修平
”	宇野 弘昌
”	大平 整爾
”	久木田和丘(事務局)
理 事	阿部 憲司
”	石川登喜治
”	伊丹 儀友
”	上田 峻弘
”	小林 武
”	齊藤 誠一
”	品田 佳秀
”	千葉 栄市
”	中西正一郎
”	橋本 史生
”	久島 貞一
監 事	桜井 哲男
”	大野 一典

表4 委員会構成

(1) 総務委員会	◎広田 ○中西 ○久木田
(2) 学術担当委員会	◎大平 ○上田 ○阿部
(3) 医療廃棄物対策委員会	◎菅原 ○石川
(4) 医政・保険委員会	◎川村 ○小林 ○品田
(5) 災害対策委員会	◎戸澤 ○久島 ○伊丹
(6) 会員増強委員会	◎久木田 ○橋本
(7) 安全対策委員会	◎宇野 ○千葉 ○齊藤
◎委員長 ○副委員長	

きました。平成16年度には北海道でも重度心身障害者医療費助成事業の1割負担導入などの見直し実施に伴い、身体障害者福祉法に基づく「更正医療」を利用できるよう、指定医療機関増加が行われました。

本会は表3、4の業務分担を行っておりますが、透析医療の危機が叫ばれている現在、日本透析医会と歩調をそろえて奮闘したい所存です。

4月より平成16年6月までに、本会のみならず日本透析医会にも新たに20名の先生方に入会していただ